

介護 なんでも 相談室



松永安優美 まつながあゆみ
栃木県出身、内科医。埼玉医科大学卒。同大付属病院を経て実家の松永医院に勤務。平成3年から特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、養護老人ホームなどを設立。現在、医療法人「聖生会」理事長、社会福祉法人「裕母和会」会長として、医院と8つの介護施設を運営している。

Q

先日、新聞で「老人福祉・介護事業」の倒産が過去最高を更新しているというニュースを読みました。なんでも、小規模の事業者の倒産が多いとのこと。実は自宅で父親を介護している私も、介護施設を探している最中なので、このニュースが非常に気になりました。条件さええば父親を施設に預けたいと思っています。妻は、同じ地域の介護施設を調べては、週末、見学に回っているところです。その中には小規模な施設もありますが、倒産が心配になってきました。倒産しそうな施設、そうでない施設はどう調べたらいいのですか？



A

異業種からのが運営している施設なら参入も増え、比較的、大丈夫ということ。また30床以下の小規模施設だと心配ですが、空き部屋が多いかどうか、経営が苦しいのかどうか、建物の外観や案内書、ホームページを見た念入りに確認してみてください。見学に行くと、経営母体の名前が通るとき、事務長の方やスタッフに質問しても、どこも「うちは大丈夫ですよ」と心えるでしょうから、ヒントを得るのは難しいでしょう。

報道にあったように、新しく介護事業を始めた小規模な業者が苦戦しているのは間違いありません。地域にもよりますが、過当競争になってくると、入居者が集まらず、施設建設時の借入金が増え、経営が圧迫されていくようです。この仕事を長くしている者として言えること、その地域に古くからある福祉法人、医療法人

倒産した場合ですが、介護保険下にある施設の場合、仮に豪華な有料老人ホームであっても倒産したら、入居一時金が負担になり、経営が圧迫されていくようです。この仕事を長くしている者として言えること、その地域に古くからある福祉法人、医療法人